

YUSHIN

2023年3月期 第2四半期 決算説明会資料

プライム市場 証券コード6482

2022年11月7日

株式会社ユーシン精機

➤ 2023年3月期上期業績

- ・売上高は、日本と北米での販売増加により**増収**
- ・営業利益は、原材料価格および海上輸送費の高騰、人件費の増加等により**減益**

➤ 2023年3月期予想

- ・売上高は、大口特注機を含む需要を見込み、**増収 (予想据え置き)**
- ・営業利益は、原材料価格の高騰、人件費の増加等により**減益 (下方修正)**

➤ トピックス

- ・サステナビリティ委員会の設置 (2022年8月)
- ・世界最大のプラスチック展示会K展に出展 (2022年10月、ドイツ)

2023年3月期上期実績と通期予想



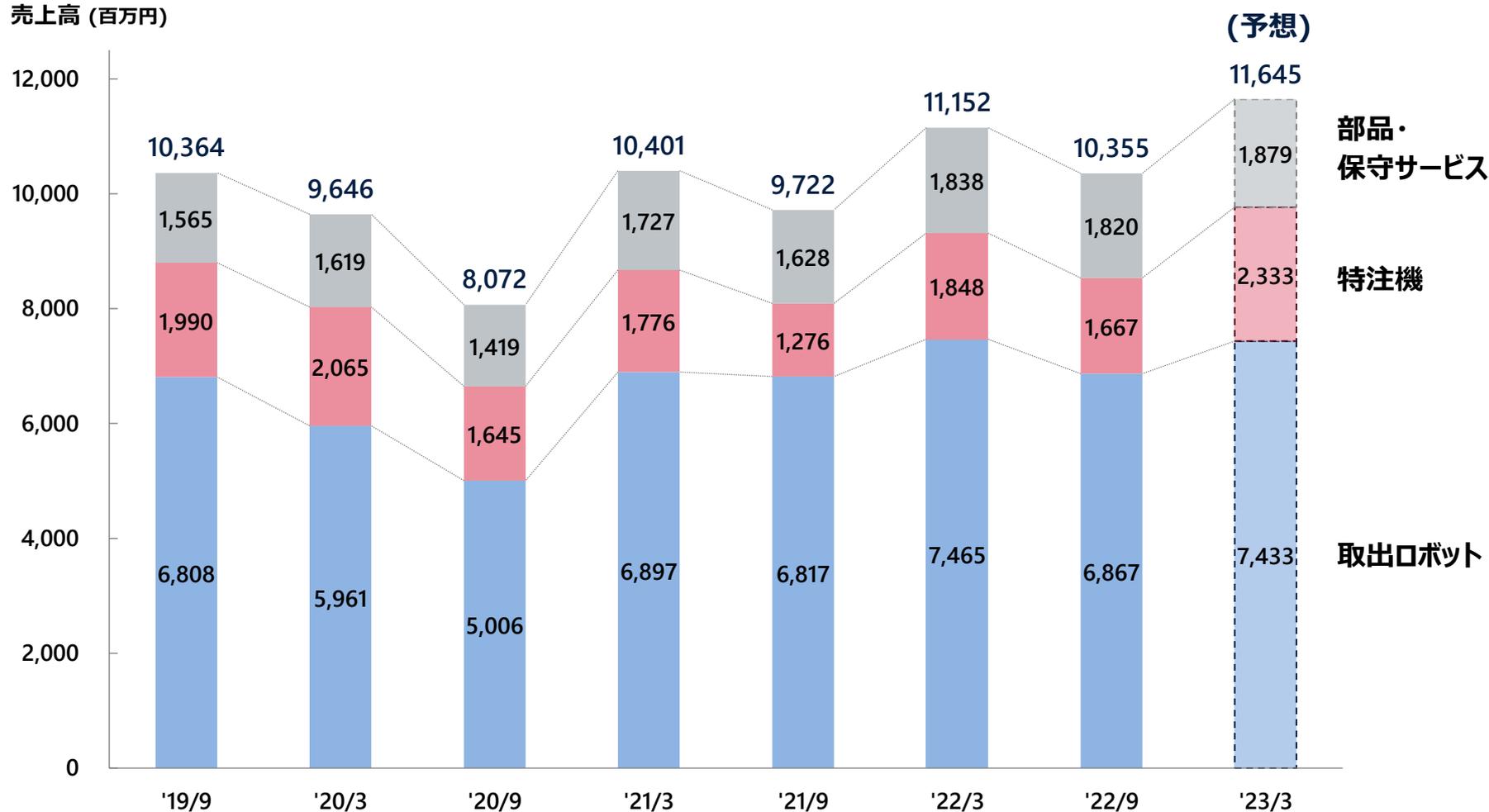
	2022/3		2023/3			
	第2四半期	通期	第2四半期		通期 (予想)	
	金額	金額	金額	伸び率*	金額	伸び率*
	百万円	百万円	百万円	%	百万円	%
売上高	9,722	20,874	10,355	6.5	22,000	5.4
売上総利益 (売上総利益率)	4,274 44.0%	8,991 43.1%	4,315 41.7%	1.0	9,200 41.8%	2.3
営業利益 (営業利益率)	1,349 13.9%	2,890 13.8%	1,078 10.4%	△20.1	2,400 10.9%	△17.0
経常利益 (経常利益率)	1,420 14.6%	3,085 14.8%	1,251 12.1%	△11.9	2,600 11.8%	△15.7
親会社株主に帰属する 当期純利益 (純利益率)	1,030 10.6%	2,112 10.1%	884 8.5%	△14.1	1,800 8.2%	△14.8
* 「伸び率」は、通期は対前期、第2四半期は対前年同四半期増減率						
<為替レート> 米ドル/円	109.80円	112.38円	133.97円		141.00円	

	2023/3上期 (実績)	2023/3通期 (予想)
売上高	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 前期比6.5%増の10,355百万円 ・ 取出口ボットは前期比0.7%増 <ul style="list-style-type: none"> (-) 中国市況の減速 (+) 日本・北米は堅調 (+) 調達難のなか納期厳守を継続 ・ 特注機は前期比30.6%増 <ul style="list-style-type: none"> (+) 国内の特注機需要が堅調 ・ (+) 為替の円安へのシフト 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 前期比5.4%増の22,000百万円 ・ 取出口ボットは前期比0.1%増 <ul style="list-style-type: none"> (+) 日本・北米は堅調 (+) 売価改善 ・ 特注機は前期比28.0%増 <ul style="list-style-type: none"> (+) 大口特注機の出荷・売上 ・ (+) 為替の円安基調の継続
営業利益	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 前期比20.1%減の1,078百万円 (-) 材料費および海上輸送費の上昇 (-) 人財投資に伴う人件費の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 前期比17.0%減の2,400百万円 (-) 材料費および海上輸送費の高止まり (-) 人財投資に伴う人件費の増加 (+) 業務効率化の推進、減価償却費の低減

品目別売上高（半期毎）

- ▶ '23年3月期上期は、国内・北米を中心に取出口ロボット・特注機の堅調なニーズを取込
- ▶ '23年3月期下期は、特注機の医療向け大口案件が売上見込

売上高 (百万円)

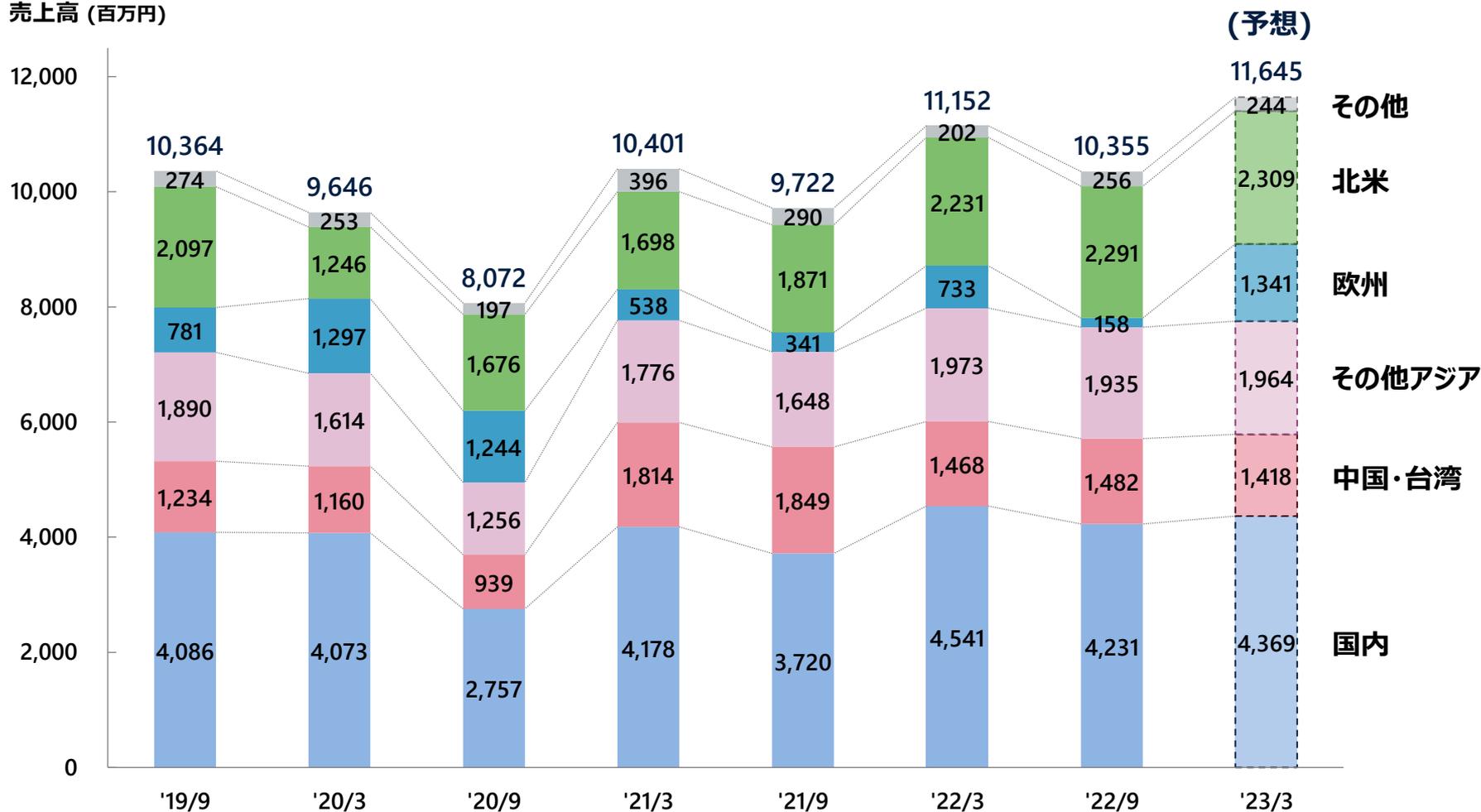


地域別売上高（半期毎）



- ▶ '23年3月期上期は、中国でロックダウンの影響あったが、**日本と北米**で販売増加
- ▶ '23年3月期下期は、**欧州**で医療向け大口案件が売上見込

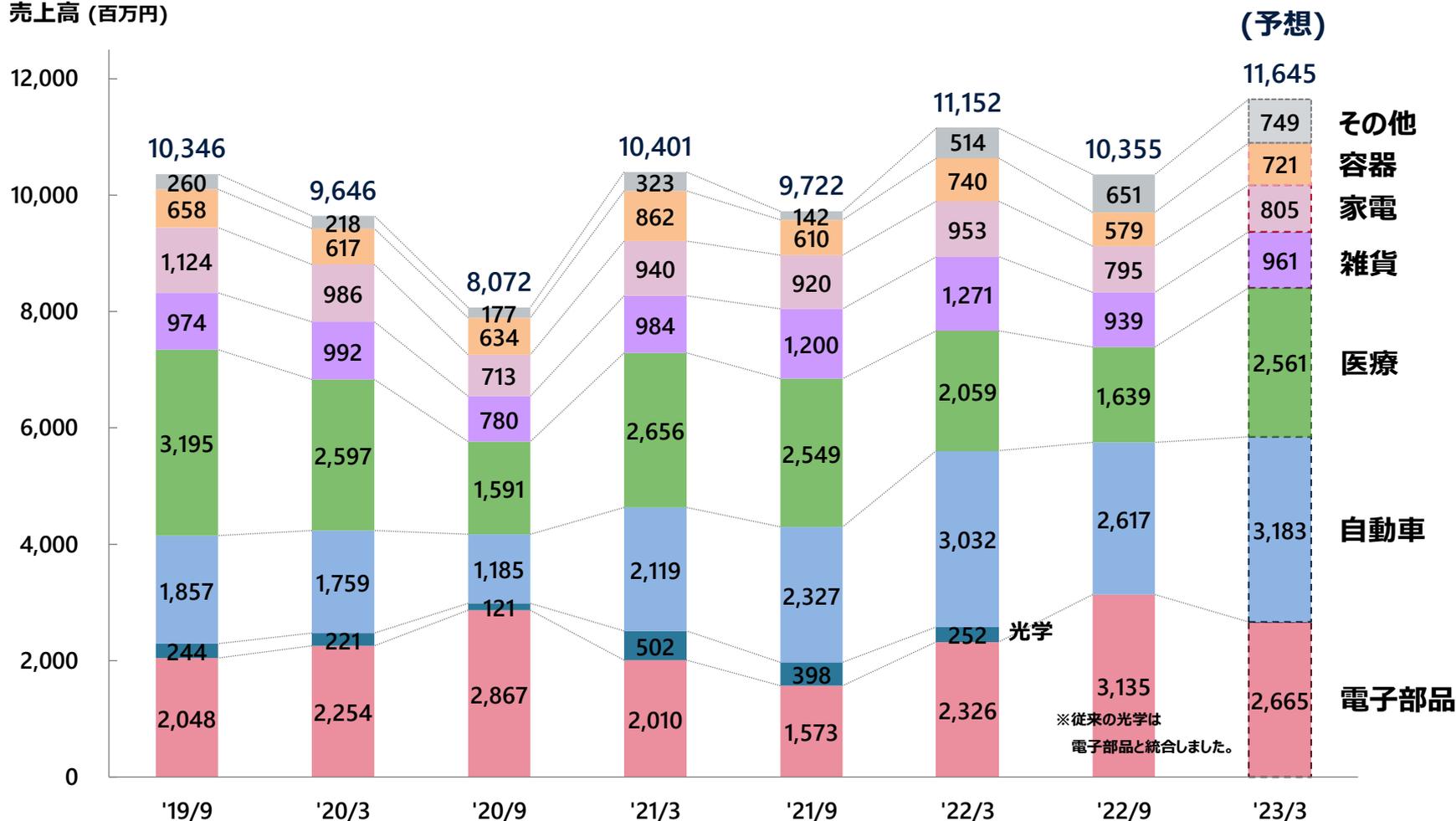
売上高 (百万円)



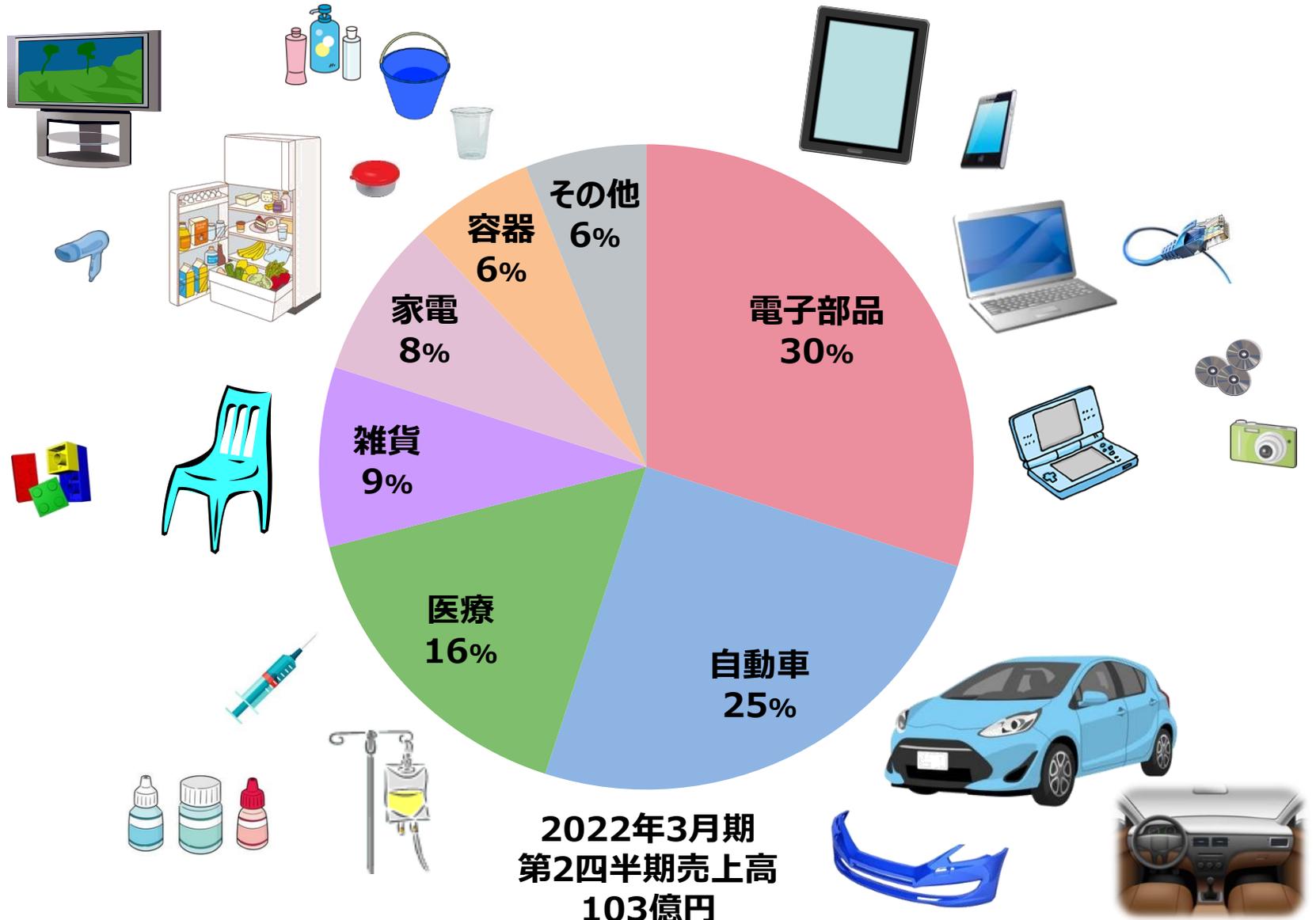
業種別売上高（半期毎）

- ▶ '23年3月期上期は、国内・北米で**電子部品**が伸長、自動車も前年同期比増加
- ▶ '23年3月期下期は、**医療**で売上増加の見込

売上高 (百万円)

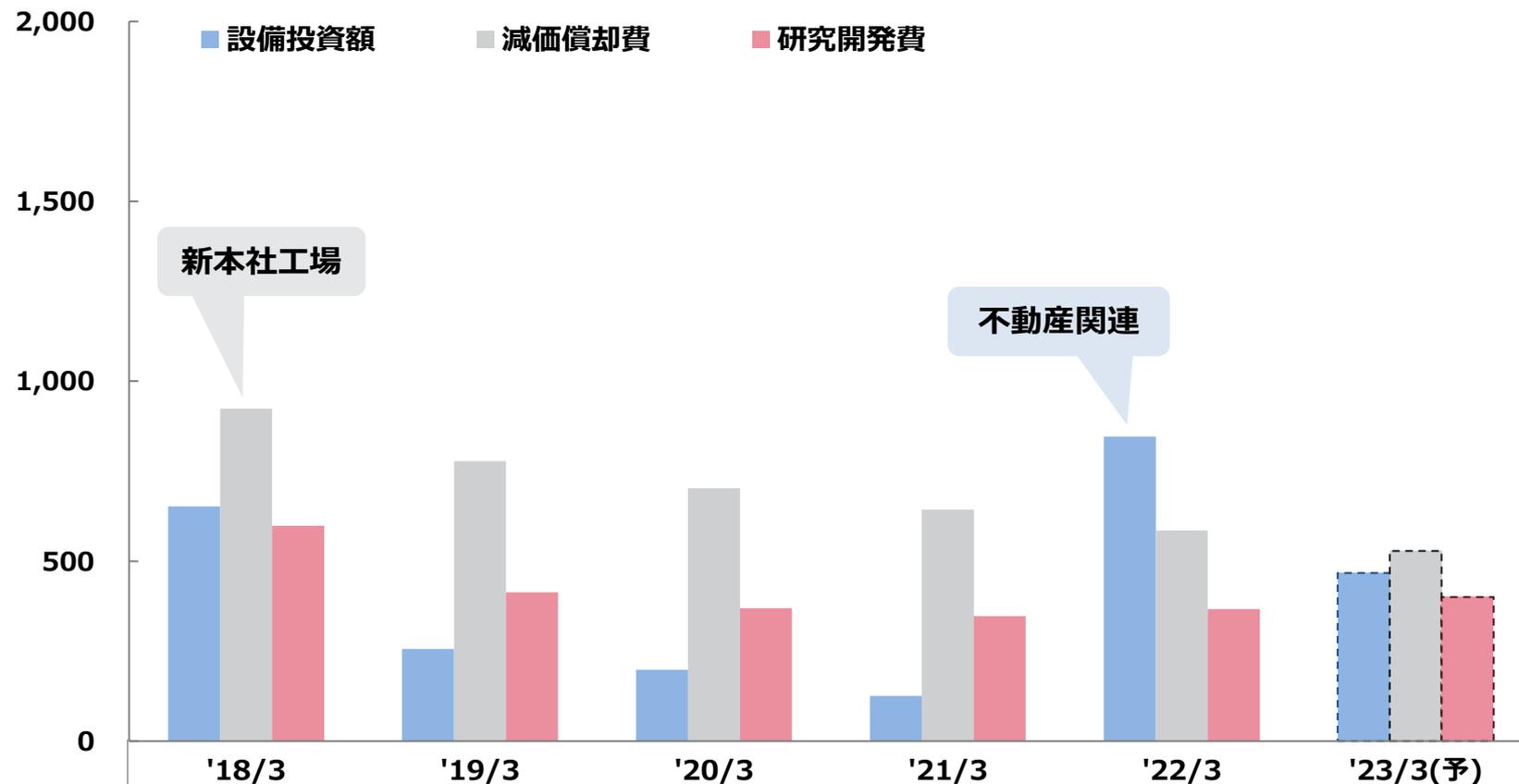


業種別売上高構成



設備投資・減価償却費・研究開発費

(百万円)



■ 設備投資額

652

256

198

125

846

467

■ 減価償却費

924

778

703

643

585

528

■ 研究開発費

598

413

369

347

367

400

中期経営目標

2022年3月期

- 連結売上高：208億円
- 連結経常利益：30億円
- 経常利益率：14.8%
- 1株当たり利益：62円

- 連結売上高：300億円以上
- 連結経常利益：50億円以上
- 経常利益率：15%以上
- 1株当たり利益：75円以上

戦略④ 新規事業の開拓

戦略③ 次世代を切り開く人財育成

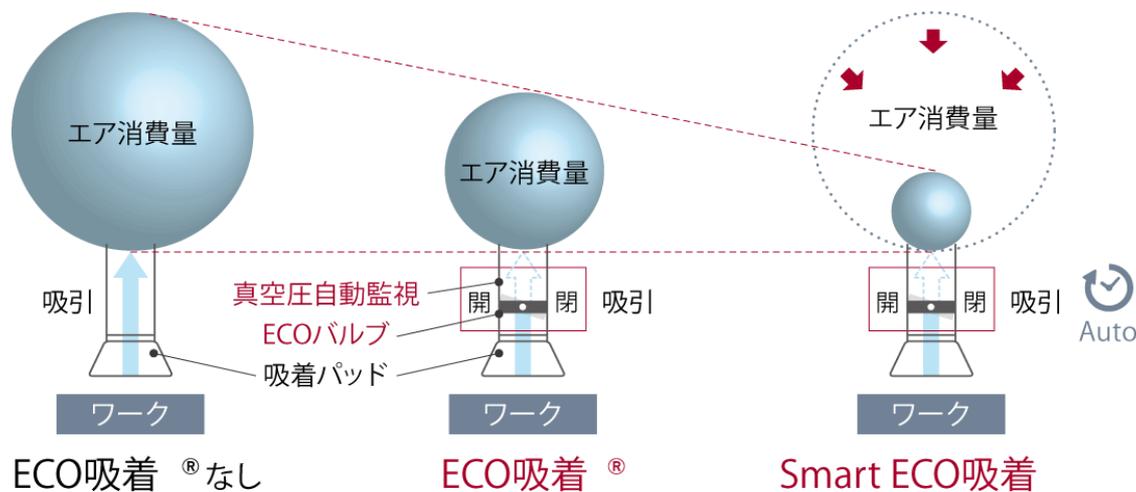
戦略② グローバル競争力の強化

戦略① 商品力の強化

➤ 環境配慮型ロボットの展開

Smart ECO吸着(PAT.P)で省エネに貢献

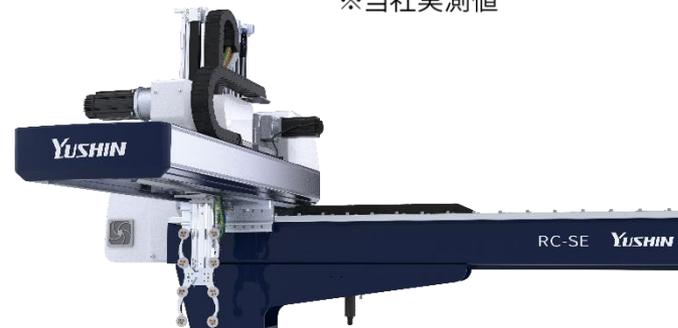
最大 **78%**削減※



※当社実測値



YDシリーズ (2021年10月発売)

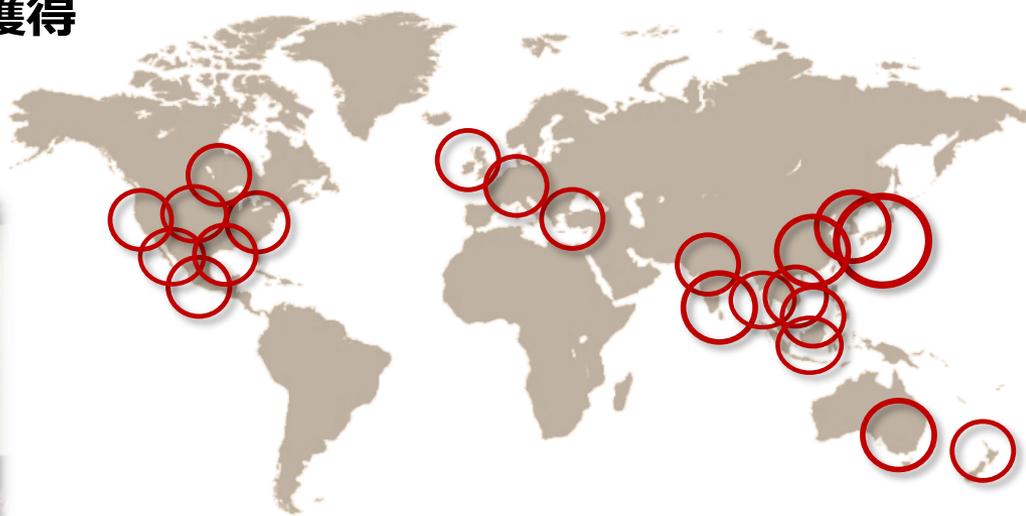


RC-SEシリーズ (2021年7月発売)

- **地域特性**に応じた商品開発
- **ヨーロッパでの拡販**に向けてドイツ拠点活用（ポーランド、フランスに代理店設置）
- 世界各国のトップクラス企業をターゲットに
- 各国のローカルユーザーの更なる獲得



K2022展示会（2022年10月ドイツ）



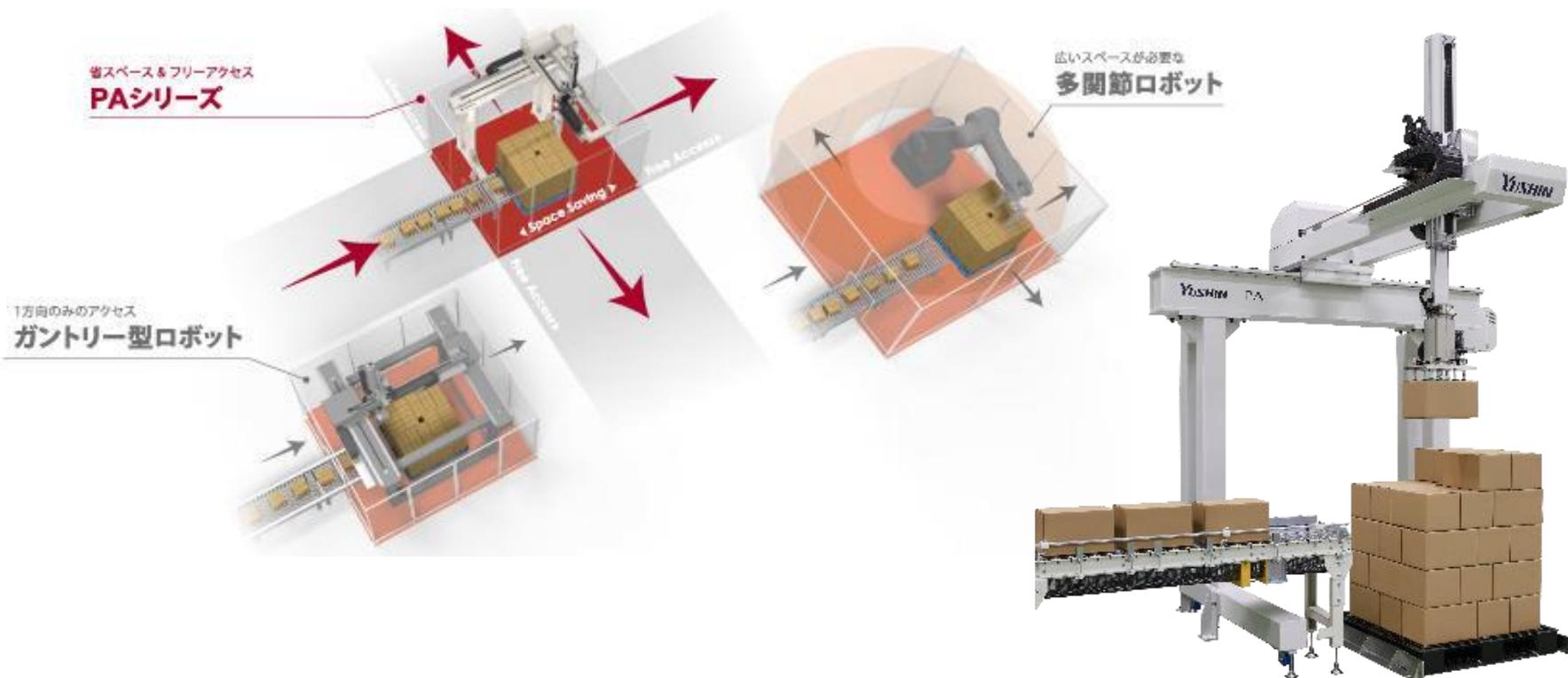
クリーンルーム対応「SX-41」

- 「**まず、想いにとどく**」をコンセプトにブランド・人財育成ポリシーを策定
- 仕事のやりがい・働きやすさの向上に向けた環境づくり
創造性・主体性を持った人財を養う「イノベーションプロジェクト活動提案制度」
- 成長のステージに応じて支援するための教育制度の充実
技術研修(eラーニングも整備)、次世代リーダー育成プログラム、マネジメント研修
- **女性の積極活用**により女性管理職割合5.0% (業界平均3.6%※)



※ 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」生産用機械器具製造業平均値(2022年5月公表)

- パレタイジングロボット「PA」シリーズ発売（2020年6月）
 - 食品業界等を主とした**新しいユーザー層**の獲得
 - 省スペース&フリーアクセスをアピール



E 環境

<環境配慮商品>

・**省エネ商品開発** (優秀省エネ機器・システム表彰の受賞)

<気候変動・脱炭素への取り組み>

・**再生可能エネルギー由来の電力へ切り替え**

・**TCFD提言に基づく情報開示**

S 社会

<人権>

・**YUSHINグループ人権方針制定とリスク特定**

<お客様工場の働き方改革>

・**工場全体の自動化システム提供**

<安心・安全>

・**世界最高基準の安全規格搭載ロボット販売**

<働きやすい環境づくり>

・**健康経営・安全衛生の推進**

・**法要請を上回る育休、時短制度**

G ガバナンス

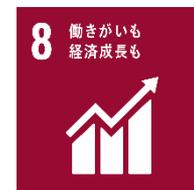
<ガバナンス体制の強化・ダイバーシティ>

・**役員11名のうち、女性2名、社外役員5名**

・**実効性評価による取締役会の改善**

・**社外役員を委員長とした指名・報酬委員会**

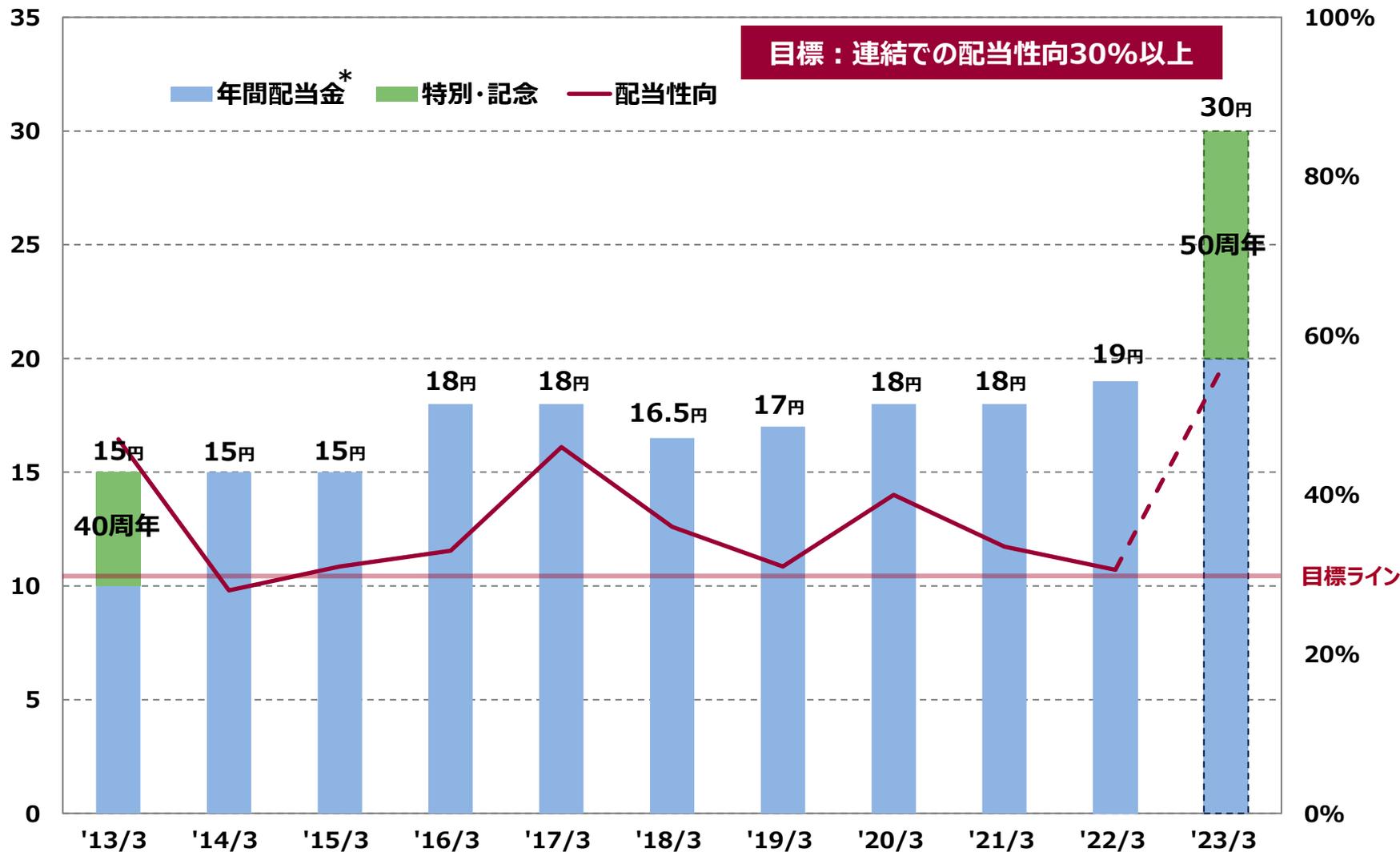
関連する SDGs項目



株主還元策

年間配当金(円)

配当性向



* 年間配当金は、2018年4月1日付の株式分割(1:2)後ベースに換算したものです。

参考資料

社名	株式会社ユーシン精機
代表者	代表取締役社長 小谷 高代
設立	1973年10月
資本金	19億8,566万円
社員数	704人 (2022年9月末現在、連結)
連結売上高	208億円 (2022年3月期)
事業内容	産業用直交型ロボットを中心に工場自動化に関連する装置・システムの開発、製造、販売。
上場	プライム市場
証券コード	6482
売買単位	100株



技術力

- スピードへのこだわり
- 振動制御技術 (特許取得)
- 省エネルギー商品開発

幅広いユーザー層

- 大企業から小規模工場まで
- グローバルに展開
- 多業種

信用

- お客様の生産を止めない
保守・サービス力
- AIを活用したサービス対応
- 納期厳守

財務体質

- 無借金経営を継続
- 高い自己資本比率
- ファブライト経営

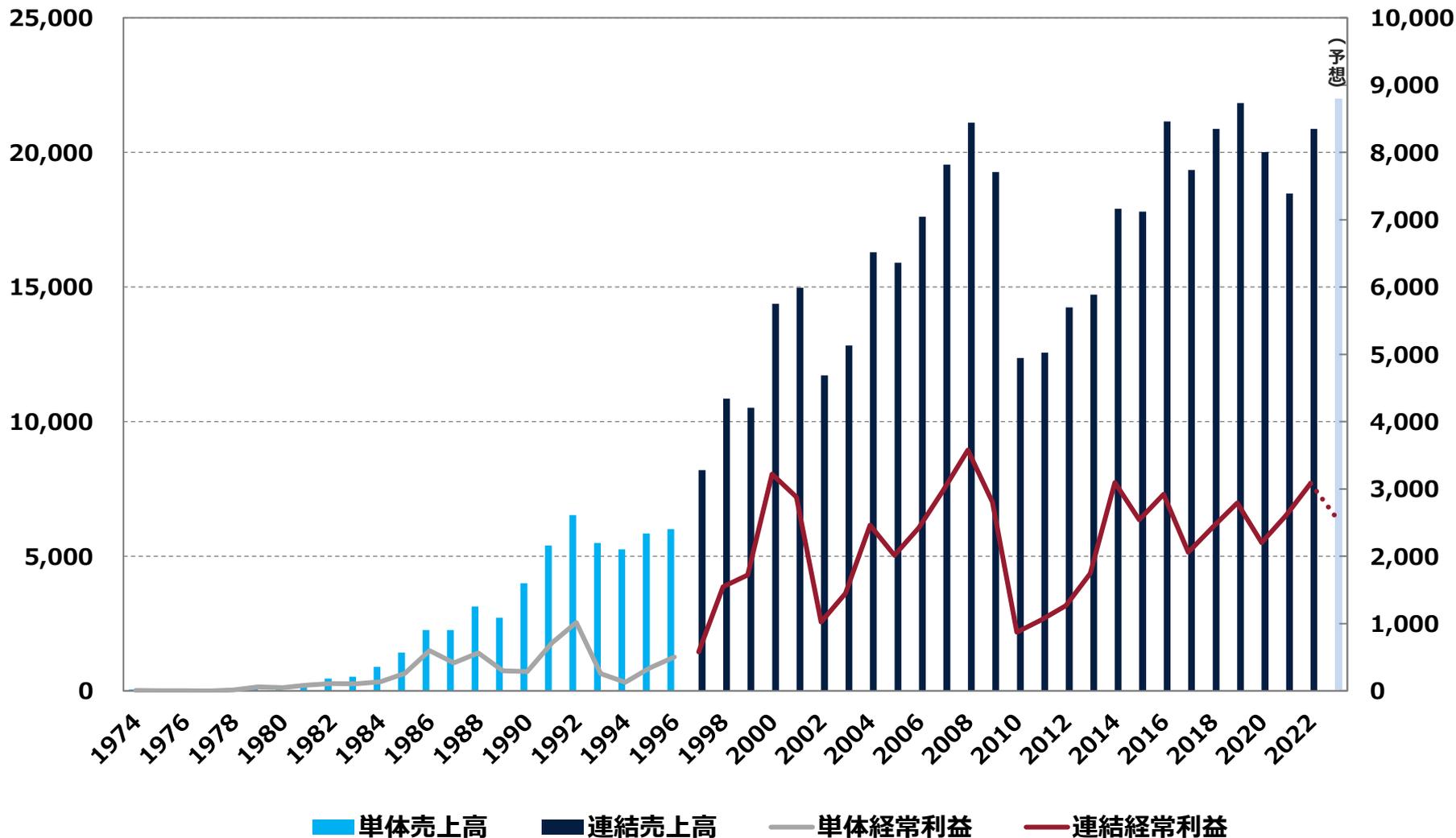


シェアNo.1

(参考) 業績推移

売上高 (百万円)

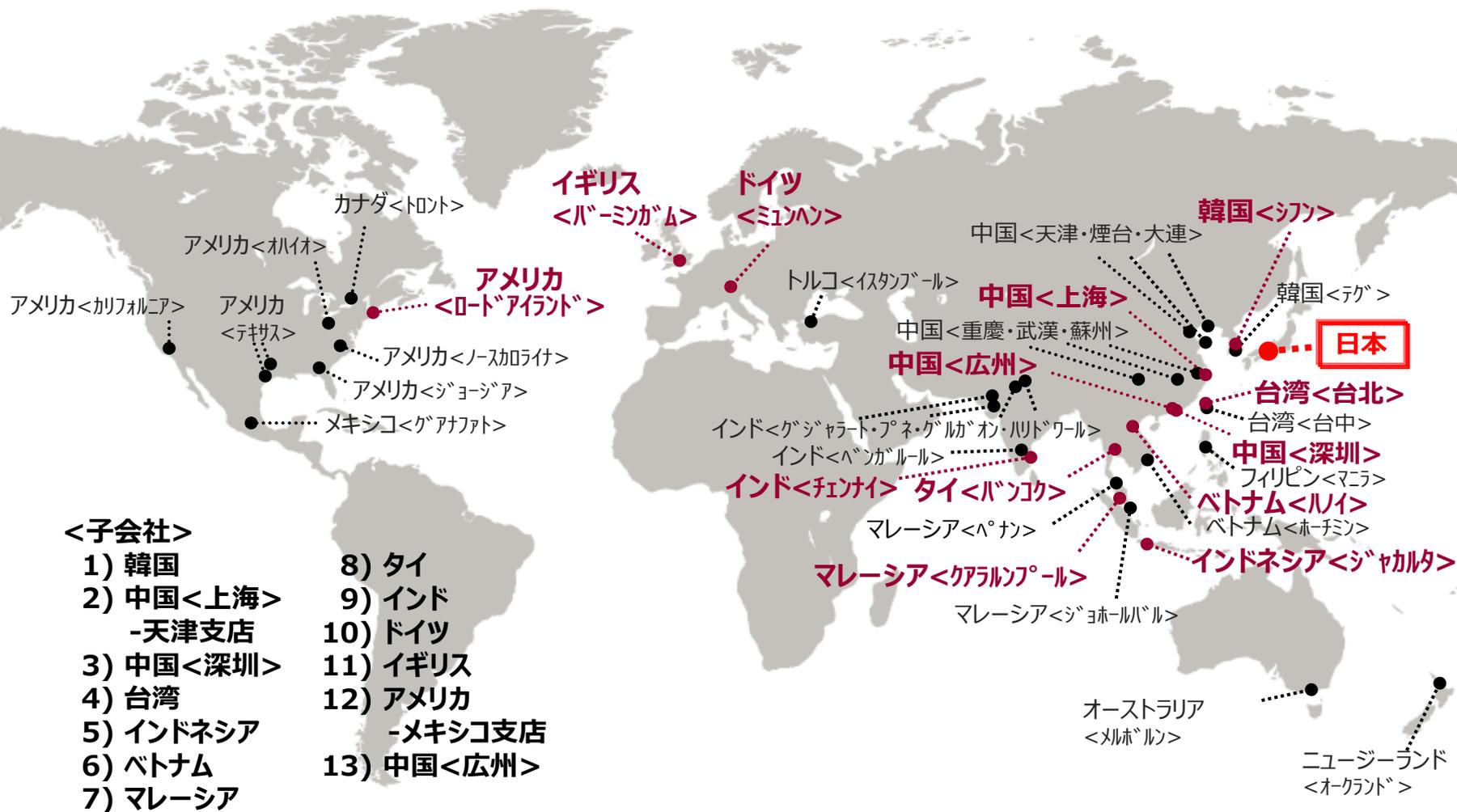
経常利益 (百万円)



(参考) 子会社の業績推移

(百万円)

国名	設立時期	出資比率	2021/3			2022/3		
			売上高	営業利益	当期利益	売上高	営業利益	当期利益
韓国	2000.10	100.0%	1,202	71	71	1,268	77	66
中国(上海)	2007. 2	100.0%	1,473	93	89	1,772	76	52
中国(深圳)	2004. 4	100.0%	676	36	35	922	36	37
台湾	2001. 7	100.0%	83	16	12	88	8	7
インドネシア	2012.11	99.0%	145	△1	△3	263	10	5
ベトナム	2014. 2	100.0%	84	10	9	86	12	9
マレーシア	2001. 5	100.0%	153	11	7	224	13	12
タイ	2001. 8	49.0%	675	33	32	815	33	29
インド	2007. 8	95.0%	29	△4	△4	58	△5	△5
ドイツ	2019. 6	100.0%	42	△31	△30	32	△31	△31
イギリス	2004. 3	95.6%	1,871	406	306	1,251	188	150
アメリカ	1988.10	100.0%	3,460	468	347	4,027	496	377
中国(広州)	2008. 9	100.0%	1,574	139	130	2,097	254	233



<子会社>

- | | |
|-----------|------------|
| 1) 韓国 | 8) タイ |
| 2) 中国<上海> | 9) インド |
| -天津支店 | 10) ドイツ |
| 3) 中国<深圳> | 11) イギリス |
| 4) 台湾 | 12) アメリカ |
| 5) インドネシア | -メキシコ支店 |
| 6) ベトナム | 13) 中国<広州> |
| 7) マレーシア | |

<駐在員事務所>

- 1) フィリピン

- 子会社
- 支店、駐在員事務所、サービス拠点、総代理店

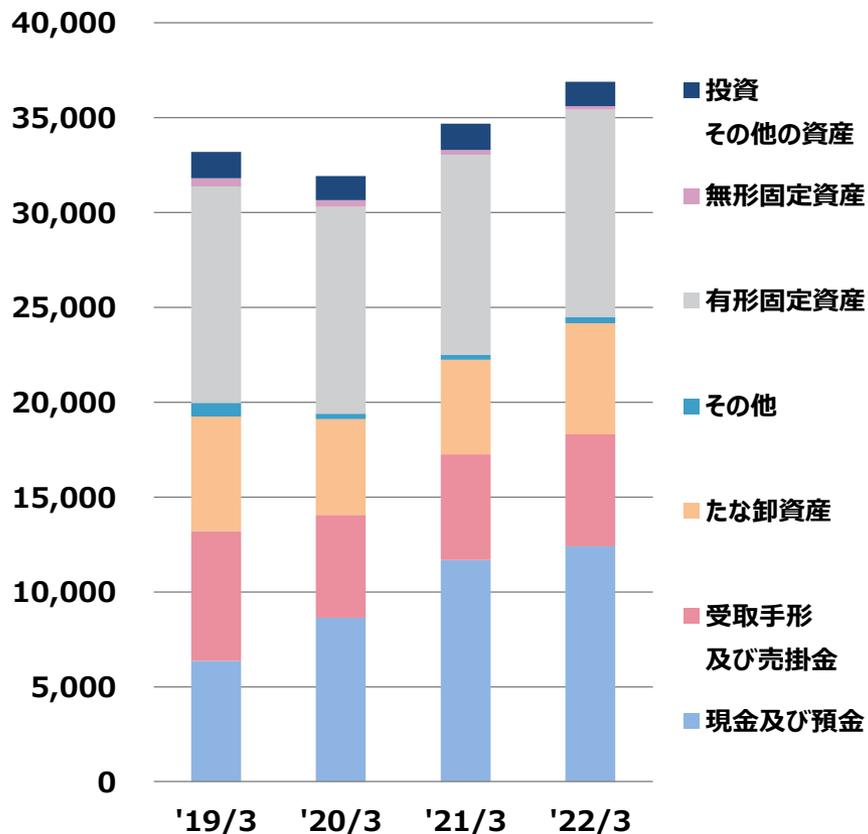
(参考) 貸借対照表

➢ 将来の機動的な投資に備え、現金及び預金が増加

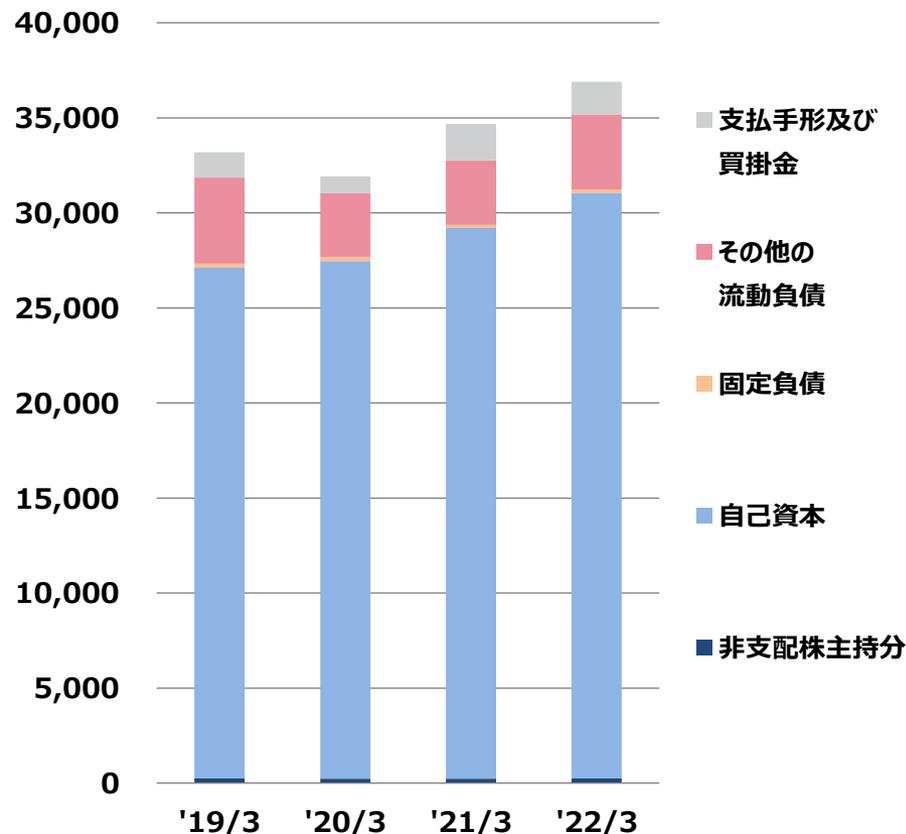
➢ 自己資本比率80%以上を継続

➢ 有利子負債ゼロを継続

◆資産 (百万円)

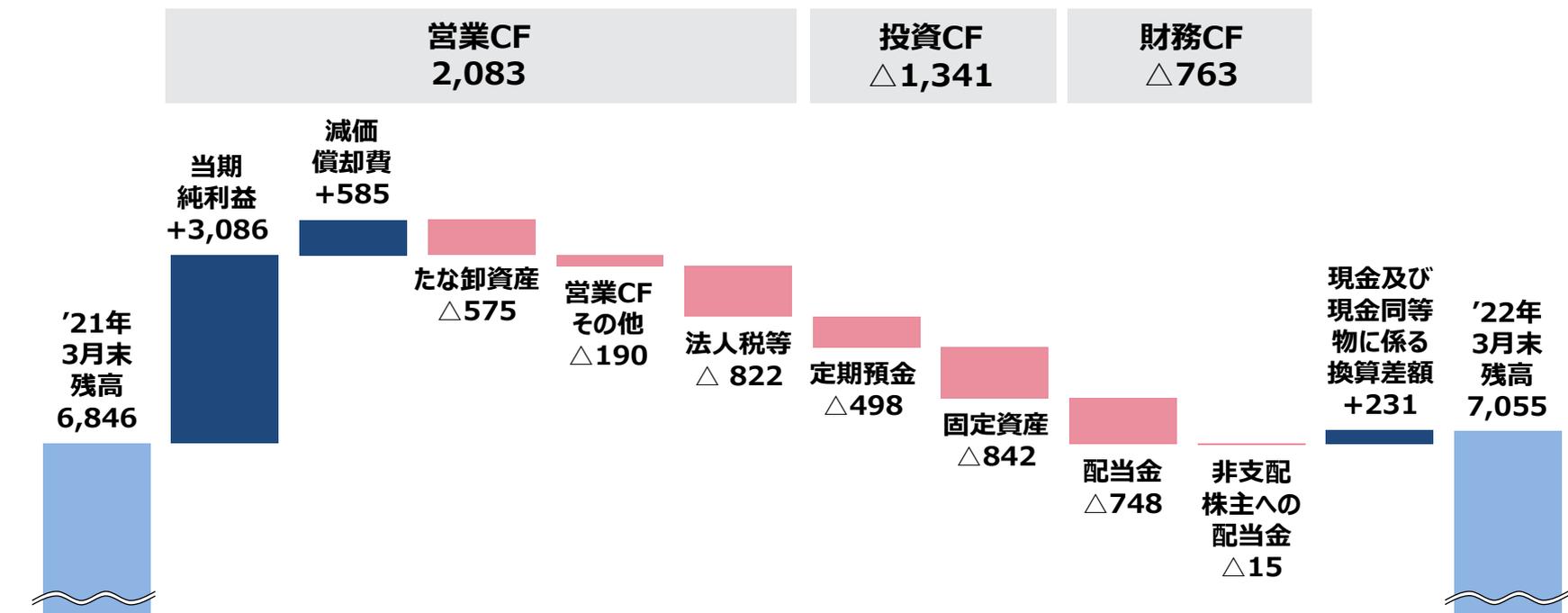


◆負債・純資産 (百万円)



(参考) キャッシュ・フロー(CF)分析・推移

◆主なキャッシュ・フロー分析 (百万円)



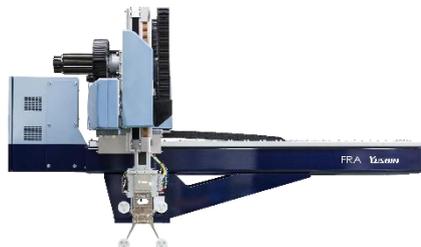
◆営業、投資、財務キャッシュ・フローの推移

(百万円)

	'17/3	'18/3	'19/3	'20/3	'21/3	'22/3
営業CF	1,626	1,223	2,291	3,558	3,487	2,083
投資CF	△471	△2,511	△61	△1,475	△1,987	△1,341
財務CF	△678	△659	△1,316	△946	△561	△763

取出口ロボット

FRAシリーズ
＜横走行タイプ＞



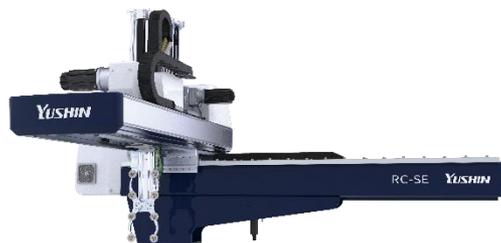
HSAシリーズ
＜横走行タイプ＞



HSTシリーズ
＜横走行タイプ＞



RCシリーズ
＜横走行タイプ＞



YDシリーズ
＜横走行タイプ＞



SDシリーズ
＜横走行タイプ＞



HOPシリーズ
＜スイングタイプ＞



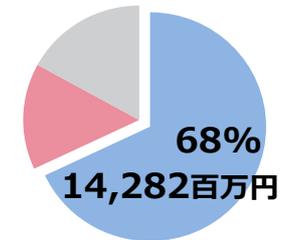
TSXAシリーズ
＜サイドエントリータイプ＞



**パレタイジング
ロボット**



売上構成比



2022年3月期

特注機

フレキシブル
モジュールストッカ



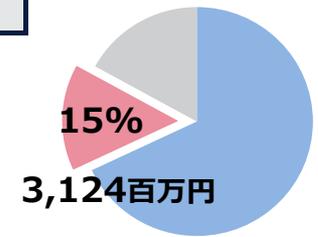
インモールド装置



ゲートカットシステム



売上構成比

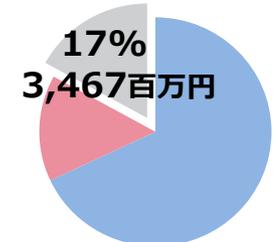


2022年3月期

部品・保守サービス

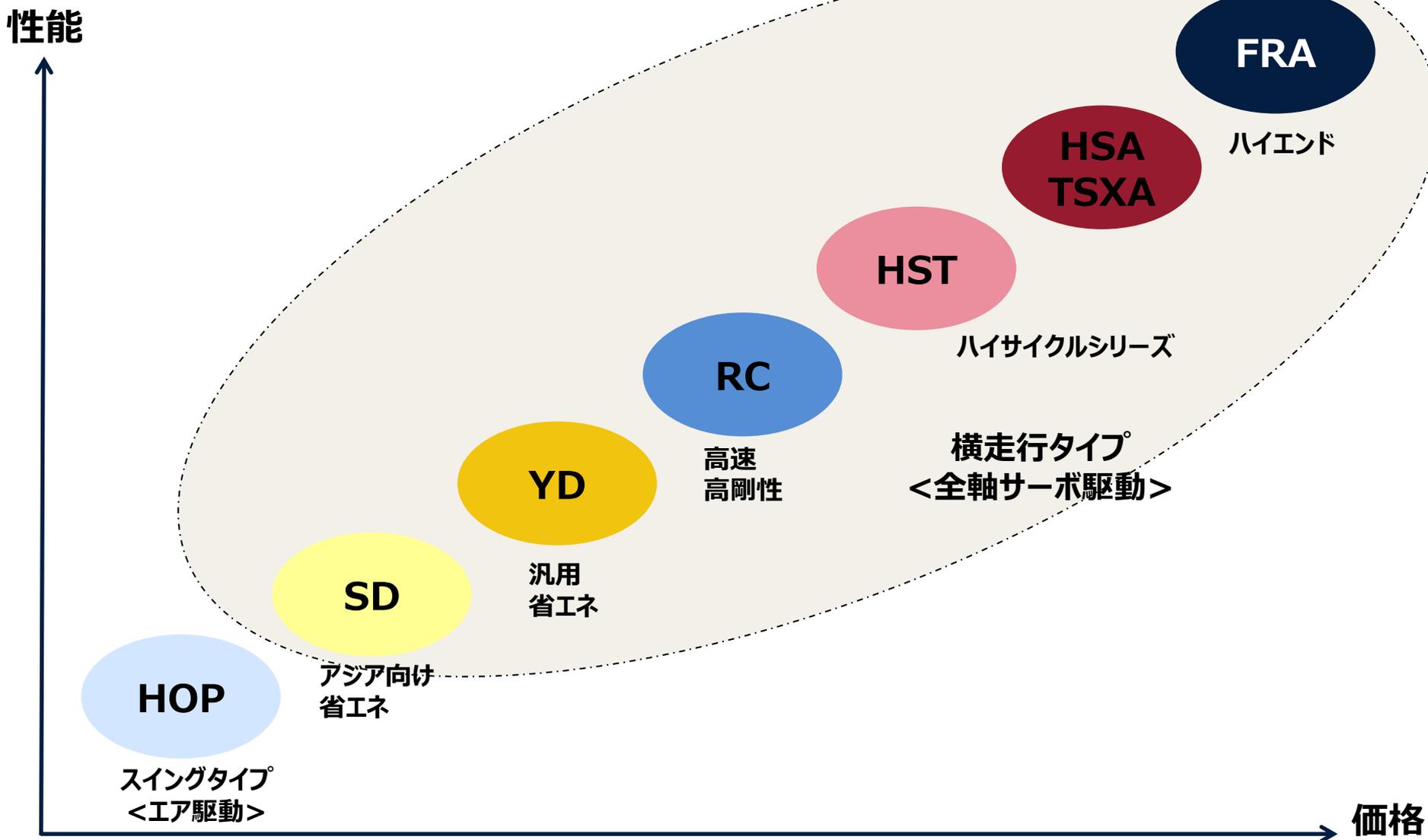


売上構成比



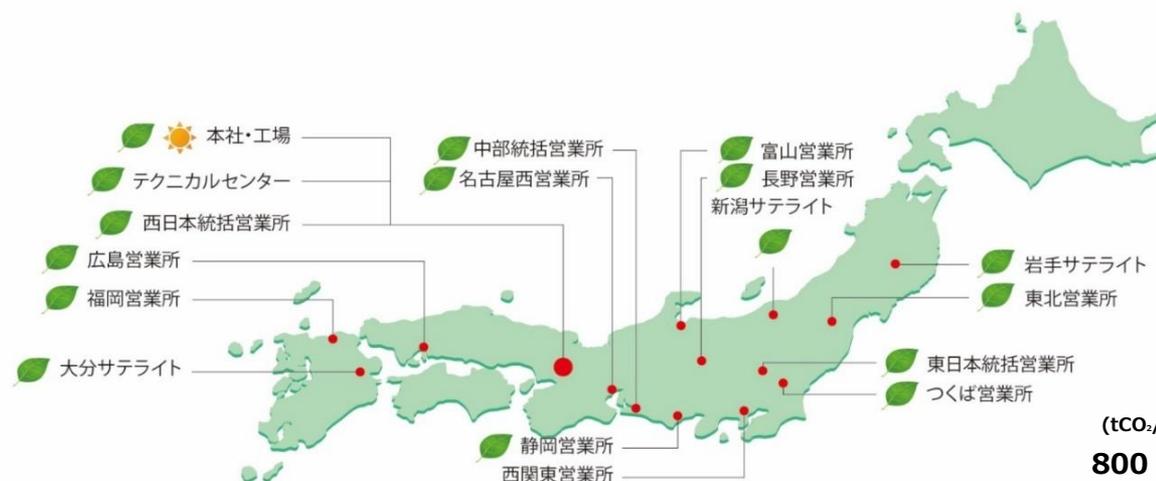
2022年3月期

(参考) 取出口ボットの性能と価格

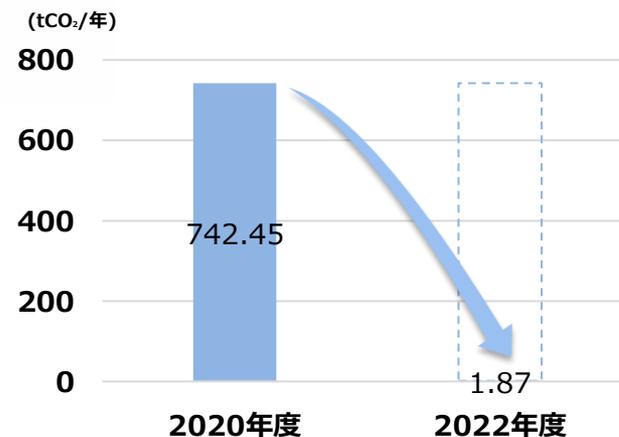


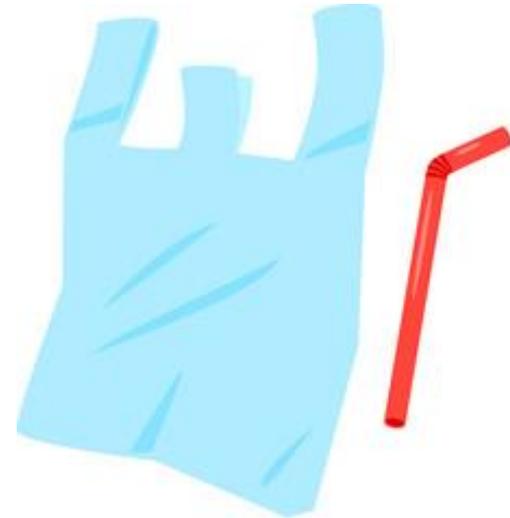
- 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言賛同 (2022年4月)
- 再生可能エネルギー由来の電力へ切り替え (2022年4月)

- 再生可能エネルギー由来の電力使用拠点
- 太陽光発電電力の自家消費拠点



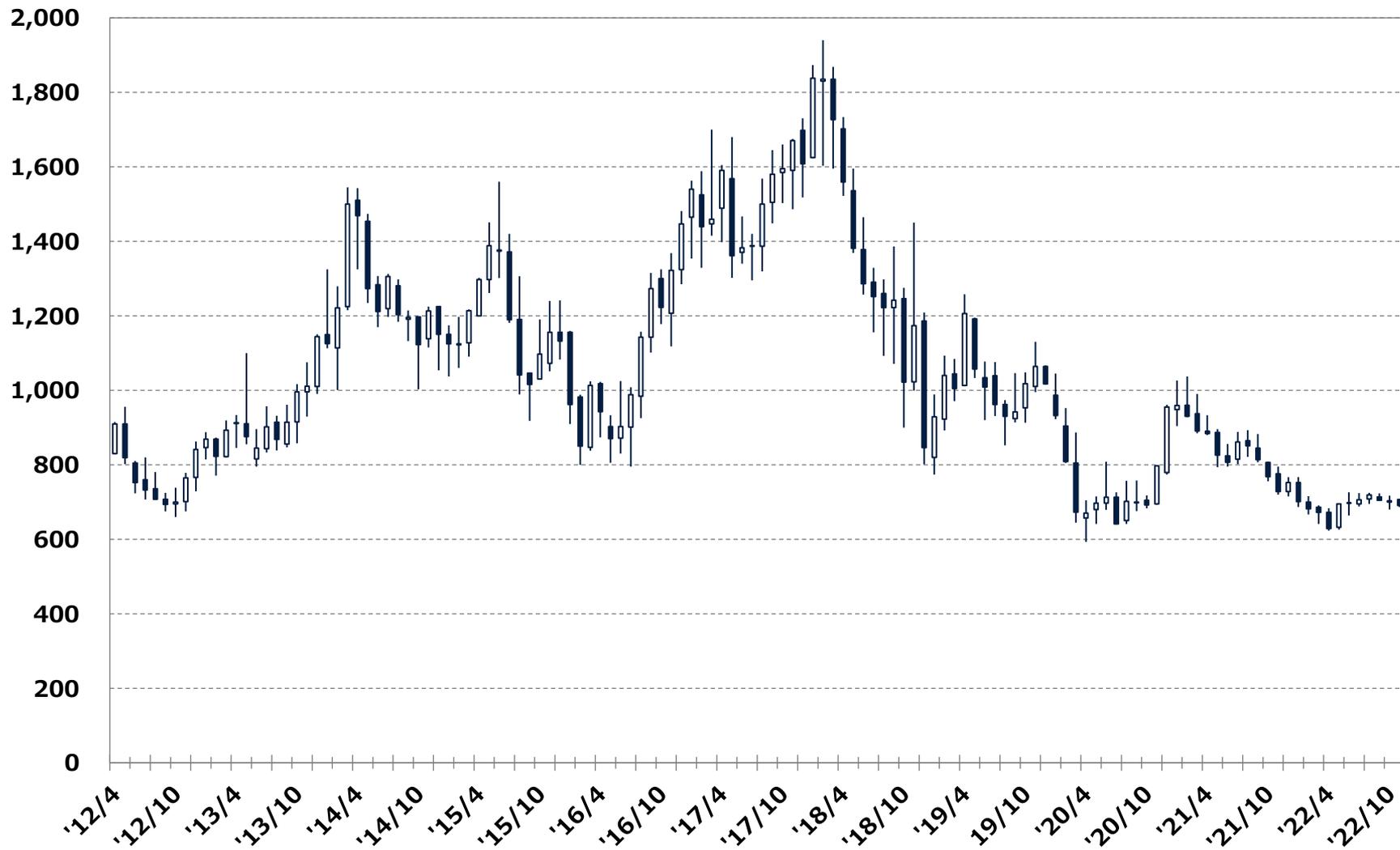
電力によるCO₂排出量(単体)





(参考) 過去10年間の株価推移 (月足)

株価(円)



株式会社 ユーシン精機

問合せ先：経営企画室

(TEL) 075-933-9555 (E-mail) irinfo@kyo.ype.co.jp

<https://www.ype.co.jp>

IRサイトでは、説明会情報や各種資料を配信しています。

<https://ir.ype.co.jp/ja/Top.html>

こちらのQRコードからもアクセスできます。→



注意事項：

本資料には、業績に関する将来予測の記述が含まれております。これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により、実際の業績とは異なる可能性があることにご留意ください。

又、本資料は財務情報、経営情報等の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。

本資料の転載をご遠慮下さい。